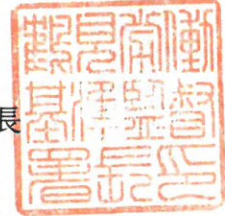


鶴見基署発 1019 第 1 号
令和 2 年 10 月 19 日

別紙の団体の長 殿

鶴見労働基準監督署長



労働災害防止に向けた取組のより一層の推進について

平素から、労働安全衛生行政の推進につきましても、格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、鶴見労働基準監督署においては、2018 年度（平成 30 年度）から 2022 年度（令和 4 年度）までを計画期間とする第 13 次労働災害防止推進計画（以下「第 13 次防」といいます。）を策定し、同計画に基づき、労働災害防止を推進しているところです。

本年度は、13 次防の中間年となりますが、本年 9 月末現在における 13 次防の重点業種等の労働災害発生状況【資料 1】をみると、**全産業 165 件（前年同月比 29.9%増加）、製造業 31 件（同 19.2%増加）、建設業 18 件（同 50.0%増加）、陸上貨物運送事業 41 件（同 46.4%増加）、小売業 22 件（同 175.0%増加）、飲食店 4 件（同 33.0%減少）、社会福祉施設 12 件（同 9.1%増加）**と、飲食店を除き、労働災害が前年同月比で急増しており、大変憂慮すべき状況となっております。

そのため、鶴見労働基準監督署においては、本年 9 月末現在での労働災害の発生状況に関する統計資料及び職場における安全衛生の取組を推進するための簡便なチェックリスト【資料 2】を作成いたしました。

つきましては、これら資料の活用を含め、労働災害防止に向けた取組のより一層の推進を図っていただきますよう貴団体傘下の関係事業者等への周知及び啓発をお願いいたします。

なお、【資料 2】は、神奈川労働局 HP の「鶴見労働基準監督署からのお知らせ」にも掲載しています。

【資料 1】 第 13 次労働災害防止推進計画（2018 年度～2022 年度）の推進状況

【資料 2】 令和 2 年 9 月末現在の労働災害発生状況及びチェックリストに関するリーフレット

第13次労働災害防止推進計画（2018年度～2022年度）の推進状況
 鶴見労働基準監督署【令和2年9月末現在】

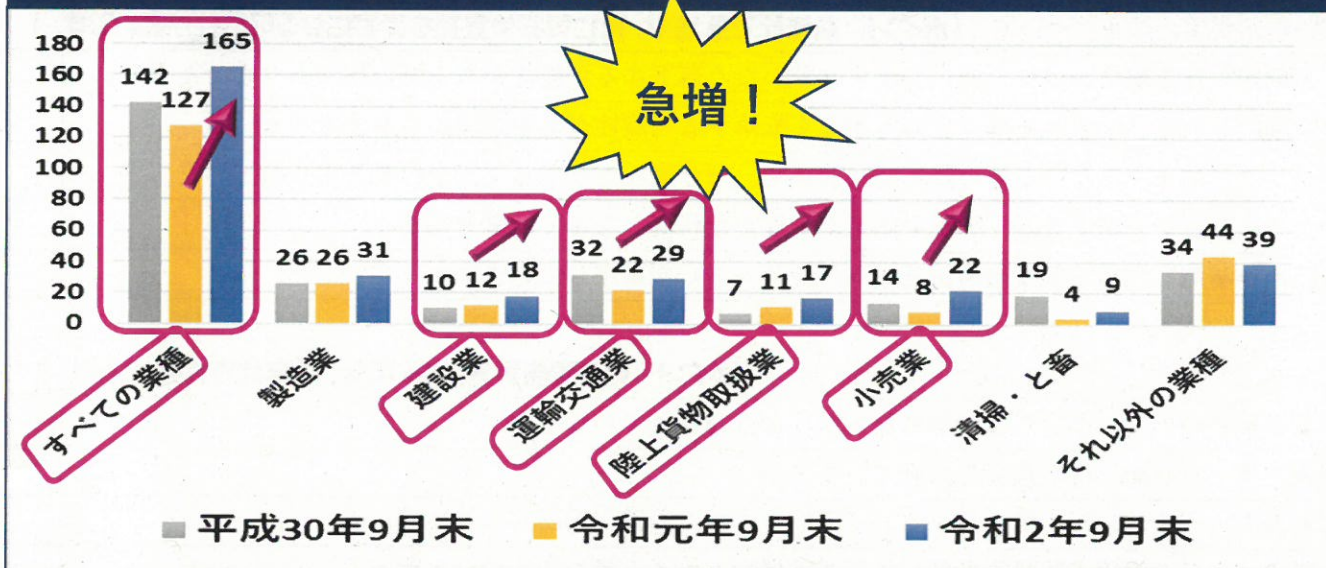
業種別		2017年 死傷者数 (基準年)	13次防 減少目標	第13次労働災害防止推進計画											
				2018年 (平成30年)		2019年 (平成31年・令和元年)		2020年 (令和2年)		2021年 (令和3年)		2022年 (令和4年)			
				目標値	確定値	目標値	確定値	目標値	速報値	目標値	確定値	目標値	確定値		
全産業	死亡	2	各年0人	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	死傷者数	235	5%減少	232	234	230	212	227	165	225	223	223	223	223	
製造業	死傷災害	53	10%減少	51	46	50	47	49	31	48	47	47	47	47	
建設業	死傷災害	24	10%減少	23	21	23	22	22	18	22	21	21	21	21	
陸上貨物運送事業	死傷災害	60	10%減少	58	55	57	45	56	41	55	54	54	54	54	
第三次産業	小売業	14	5%減少	13	21	13	16	13	22	13	13	13	13	13	
	飲食店	8	5%減少	7	9	7	9	7	4	7	7	7	7	7	
社会福祉施設	死傷災害	9	5%減少	8	20	8	19	8	12	8	8	8	8	8	

労働災害が急増しています！

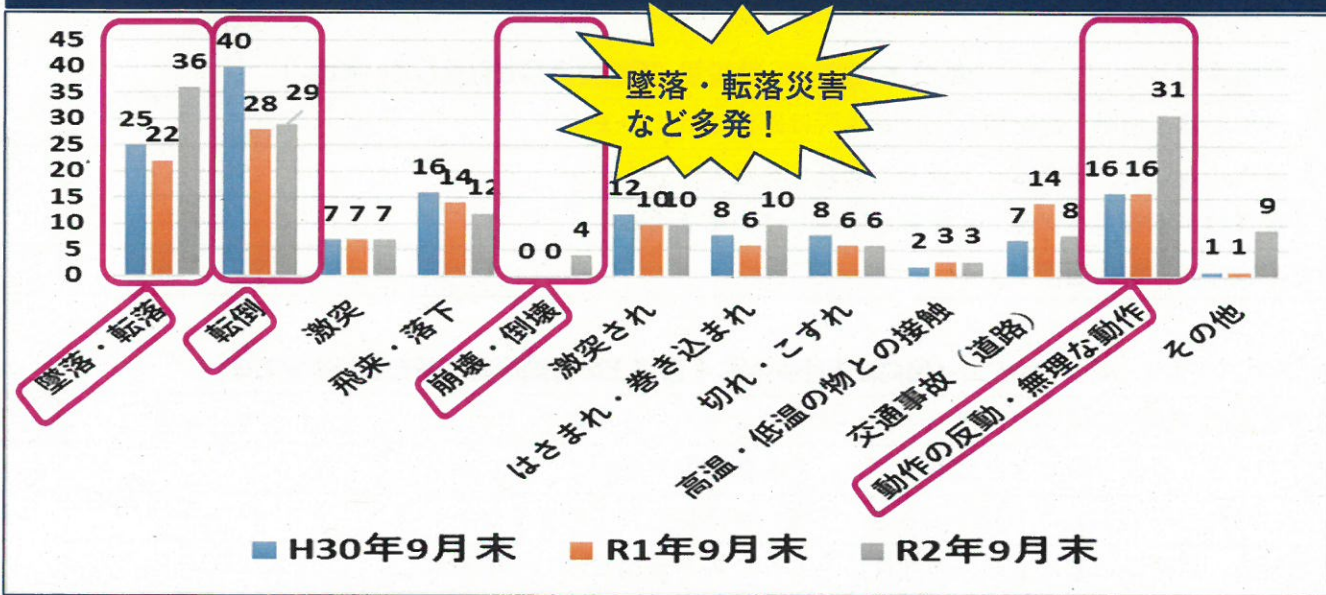
職場内の安全・安心の確保を！！

- ▶ 令和2年9月末現在で、前年同月比で**38件増加（約30%増）**！
- ▶ **建設業、運輸交通業、陸上貨物取扱業、小売業**で急増！
- ▶ **墜落・転落、動作の反動等、転倒**による災害が多発！
- ▶ 労働災害によって**休業した労働者の50%が50歳以上**！
- ▶ **チェックリストを活用して、今すぐ安全確認**！

業種別災害発生状況



事故の型別災害発生状況【すべての業種】



以下の項目について、チェックをしてみましょう。(項目の右欄に○、×、レ、適・否、点数など自由に記入して下さい)
 取組みが不十分と考えられる項目については、改善を図ってください。

令和 年 月 日現在

安全衛生管理体制の確立 (ポイント:トツから各管理監督者まで、役割、権限を明確にして取り組むことが必要です)

経営トップが、安全衛生に対する姿勢を明確にし、積極的に関わっていますか	
労働安全衛生法令で定められた各管理者等(総括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推進者、産業医など)を選任し、その者に必要な権限を与えていますか	
上記の者が選任された職務を実施していますか	
安全、衛生委員会等において、事業場内の労使が協力し、安全衛生の問題について調査審議を行う場を設けていますか	

墜落・転落災害の防止について (ポイント:前年比で急増中。死亡災害や重篤な災害になる可能性が高いです。)

事業場内の作業場において、囲いや手すり等がなく落下する可能性がある開口部がありませんか	
事業場内において、手すりや滑り止め等がなく転落する可能性がある階段がありませんか	
トラック、フォークリフト等の降車時において、飛び降りたりする不安全行動を防止していますか	
脚立やはしごを使用する際、脚部や固定が不安定な状況となっていませんか	
上記の作業時に墜落時保護用の保護帽(ヘルメット)を着用していますか	

動作の反動・無理な動作による災害の防止について(ポイント:特に腰痛災害については、前年比で大幅増加中。)

作業姿勢について、不自然な姿勢にならないよう心掛けていますか	
体操やストレッチを行う機会を設けていますか	
事業場内の作業場において、足をくじく可能性のある通路、場所がありませんか	
「職場における腰痛予防対策指針」による重量物となる重量を知っていますか	
腰痛防止の取組みとして作業の自動化、省力化を行っていますか	

崩壊・倒壊災害の防止について(ポイント:製造業、建設業、運輸交通業で発生しています。)

物を立てかける場所、物を積み上げる場所は確保されていますか	
事業場内において、物を積み上げる上限高さを定めていますか	
取り扱う物が不安定な状況で、作業を継続していませんか	
固定や固縛の方法は適正ですか	

転倒災害の防止について(ポイント:国内における休業4日以上の労働災害で最も多い災害です。)

通路は適切な幅が確保され、段差がない状態になっていますか	
床の水たまりや油、粉などを放置せず、その都度取り除いていますか	
安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	
作業靴は、耐滑性のあるもの、屈曲性のあるもの等を着用していますか	
「ころばNICEかながわ体操」を知っていますか	

小売業における災害の防止について(ポイント:前年比で2倍を超える発生件数となっています。)

雇入れ時の安全衛生教育を確実に実施していますか	
バックヤードも含めた4S活動(整理、整頓、清掃、清潔)が行われていますか	
朝礼時等での安全意識の啓発を実施していますか	
耐滑性のある靴、切創防止用手袋の着用を進めていますか	
本社・本部、エリアマネージャーから店舗の労働災害防止に関する指導、支援がありますか	
労働災害が発生した際、管理者への迅速な連絡が行われ、災害発生の原因の究明および同種災害防止に関する措置が講じられていますか	

建設業における災害の防止について(ポイント:神奈川県下においても本年、死亡災害が増加しています。)

墜落災害防止のため、現場状況に応じた作業床・手すりの確保、墜落制止用器具の使用が徹底されていますか	
墜落災害のうち、スレート屋根の踏み抜き災害について、安全意識を持っていますか	
台風等の悪天候時における作業中止基準、再開判断基準を設けていますか	
資材置場等の工事現場以外の作業においても危険予知活動を実施していますか	
交通事故防止のため、通勤車両の運転者の疲労を配慮していますか	
体調不良の者が現場内で出た場合、ためらわずに医療機関に連れていっていますか	

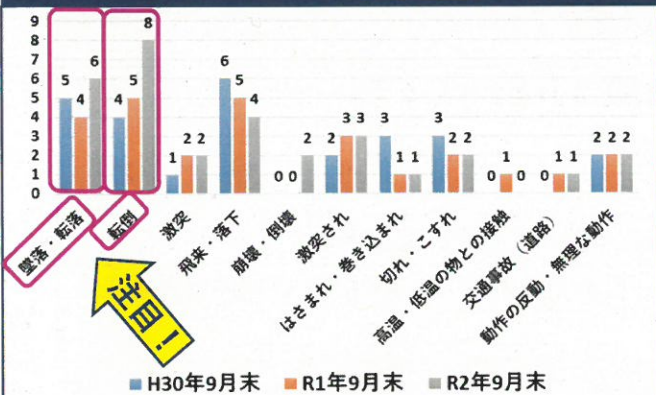
陸運業における災害の防止について(ポイント:昨年度の陸上貨物取扱業は、神奈川県が発生件数全国ワースト1位。)

トラックからの降車時に発生する災害を防止するため、トラックにリアステップやサイドステップを設置していますか	
荷主先等における車両運転手の労働災害防止のため、荷主等へ安全な設備対策の協力を求めていますか	
ロールボックスパレットや台車に関する作業ルールを定めていますか	
コンベヤー、スタッカークレーン、産業ロボット等の施設内の機械設備に関し、安全措置を講じていますか	
派遣労働者については、一般的に経験年数が短いことを配慮するとともに派遣元事業者が雇入れ時教育等を適切に実施しているか確認していますか	

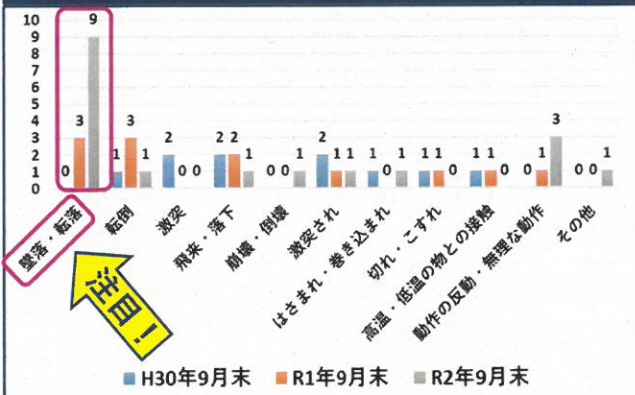
労働災害防止全般について(ポイント:労働災害の防止にゴールはありません。日々の積み重ねを意識しましょう。)

高齢労働者の身体低下を補う設備、装置の導入や作業内容の見直しを実施していますか	
安全を考慮した作業方法が定められた作業手順書(マニュアル)が作成されていますか	
危険などを目に見える形にして、安全意識を高めるための「見える化」を進めていますか	
安全衛生パトロール、危険予知活動、ヒヤリハット報告等の安全衛生活動が形骸化しないよう工夫していますか	
リスク低減措置の内容を検討する際は、本質的対策(危険な作業の廃止、変更など)を第一に考えていますか	
視聴覚教材が掲載されている「職場の安全サイト」、他の企業の活動事例が掲載された「見える」安全活動コンクール」を知っていますか	

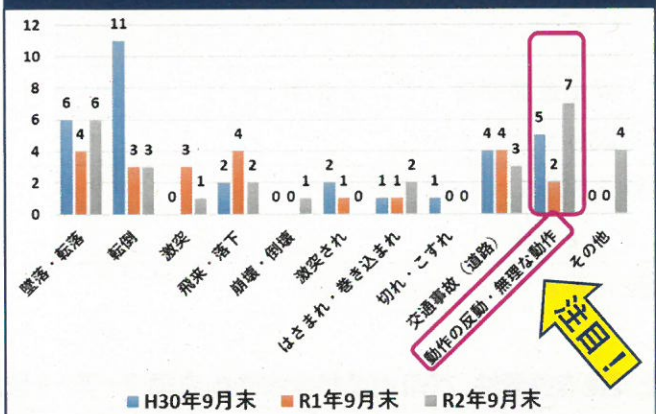
事故の型別 【製造業】



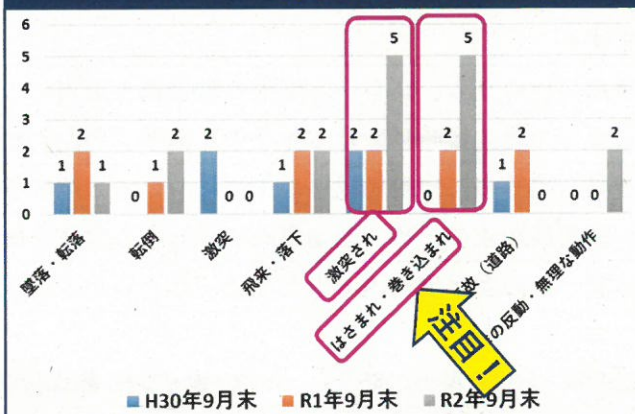
事故の型別 【建設業】



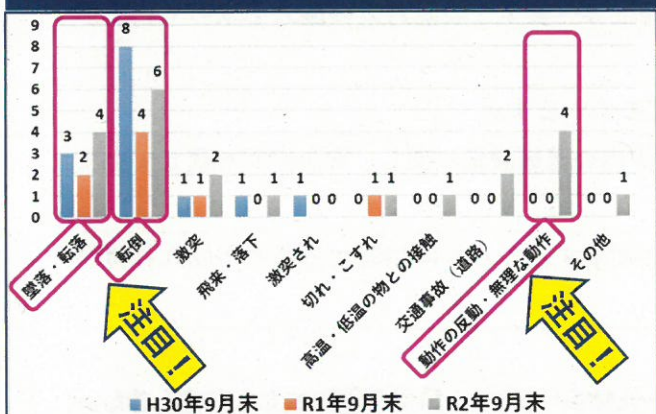
事故の型別 【運輸交通業】



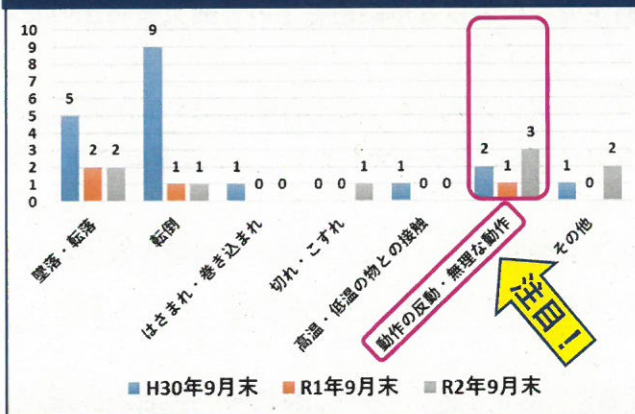
事故の型別 【陸上貨物取扱業】



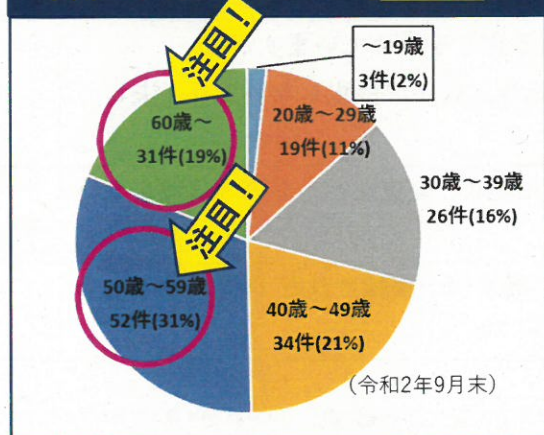
事故の型別 【小売業】



事故の型別 【清掃・と畜業】



年齢別災害発生状況 【全業種】



年齢別災害発生状況 【業種別】

